思います。

――作曲された動機を教えて頂けますか?

川合：私は現代音楽を主に書いていますが、吹奏楽で世間の人にもっとアピールできるような作品を手掛けたいと思ったんです。なおかつポップでキッチュなものを作りたいと思い、作品にしました。

――今年のコンクール課題曲に「メタモルフォーゼ～吹奏楽のために～」が選ばれました。

川合：この曲はちょうど去年の今頃に書いた作品ですね。

――制作期間を教えて頂けますか?

川合：「メタモルフォーゼ」は1カ月と少しです。構想から含めると2カ月ぐらいですね。

酒井：プランができてからスコア書くのに1カ月かけているとしたら、結構丁寧だよね。

――この点、酒井先生はいかがでしょうか。

酒井：曲のプラン、つまり構想を立てている時間が、長くなることもあるんです。「雛祭り幻想」も何年越しの作品なんです。スコアの記譜はそれこそ10日ぐらいでできたんだけれども、そこまで何年も考えていました。ただ、その間も他の曲を書いたりしていますので、"とびとび"なんです。

ブラームスも交響曲第一番の制作期間が20年とか言ってますけれども、実際には2、3カ月でできているでしょうね(笑)。

☆ 吹奏楽の良さとは、色彩感の豊かさですね。

――ありがとうございます。川合先生の思う、吹奏楽の良さを教えて頂けますか?

川合：吹奏楽の特徴はやはり、色彩感の豊かさですね。

吹奏楽は、ある意味ではオーケストラよりも色彩的だと思っています。

幅の広さというか、パレットがオーケストラとはまた違うイメージですね。

――川合先生は、今後は吹奏楽の曲を書いていこう、吹奏楽以外もどんどん広げていこう、というお考えですか?

川合：はい、30歳までは、貪欲にやっていこうと考えています。あと5年。なんとか死にもの狂いでやっていきます。

――すごいですね。その後はいかがでしょうか?

川合：今はまだ何も決まっていないです。30歳までの業績次第ですかね。とりあえず今、自分のできることはなんでもやろうっていうスタンスで頑張っています。

――最後にお二人から演奏会に来ていただいたお客さまにひとことお願いします!

酒井：明日選抜の開会式でマーチ流れるので聞いてください(笑)雨じゃなければ。

今日の「雛祭り幻想」は、いろんな楽器がそれぞれの特長を活かした役割を担っているので、それを感じてもらえたらな、と思います。特にフルートとオーボエが目立ちます、クラリネットも大変です。結構難しいです。

川合：「シンフォニックバンドのためのオクシモロン」は、ポップでキッチュで、俗悪だけれども親しみやすいものを書くことを目指した作品です。

オクシモロンというタイトルの通り、非常に構築性を重視して書いています。モティーフの扱いなどは、古典的な形式に寄り添っています。最初のモティーフと次のモティーフとの対比とか、そういう楽しみ方ができると思いますので、興味を持ってもらえたらと思います。

――とても本番が楽しみですね!ありがとうございました!

まちかね山吹奏楽団　今後の予定

2017年5月中旬～
吹奏楽コンクール出演メンバー募集開始

2017年8月
吹奏楽コンクール出場

2018年3月17日(土)
第16回定期演奏会
於：豊中市立文化芸術センター 大ホール
客演指揮者：小野川昭博(予定)

いずれも、各WEB・SNS等で告知しますので、チェックしてください!

HP：http://www.amusette.net/
Facebook：
https://www.facebook.com/machikane.since2001